

広報 溝部学園

# 別府溝部学園短期大学

- 別府溝部学園短期大学
- 大分県歯科技術専門学校
- 別府溝部学園高等学校
- 認定こども園ひめやま幼稚園
- ひらた保育園
- 寒田ひめやま保育園

## 祝 令和4年度(第58回) 卒業式典

- 弓道部 第70回全日本学生弓道選手権大会出場  
第66回西日本学生弓道選手権大会出場
- 水泳部 第82回九州学生選手権水泳競技大会(個人入賞)  
第54回西日本年齢別選手権水泳大会出場

### 武田信玄の 生き方に学ぶ

学校法人 溝部学園理事長  
別府溝部学園短期大学学長  
溝部 仁



戦国時代最強の武將 武田信玄は何故、強かったのかその秘密を探ってみよう。負けるはずのないと思っていた戦に負けたり、滅びるはずがない家が、滅びたりすると、人は皆、運だということ。

「だがわしは、天命だとは思わない。それは皆、やり方が悪かったからである。やり方さえよければ、負けるはずはなからう。」我々は、思いがけない事態が起こると、運が悪かったと嘆くばかりだ。しかし、信玄は、これを否定する。運、不運で片付けてしまつては進歩がないからである。どんな結果にも必ず原因がある。その時、その時、きちんと反省し、改める努力をしてこそ未来が開けてくる。と信玄は、語っていたと伝えられている。信玄が、何故、このような生き方をするようになったのか、それは、信玄の父親信虎の生き方からである。信虎は、人家臣の意見を聞かず、独断専行で、家臣五十人を超える者を殺したと言われている。

このままでは武田家はつぶれると判断して、今川に追放したのである。信玄二十一歳のときである。その後、信玄は武田家の方針をガラリと変えたのである。軍事や内政など、何らかの方針を決める際には、家臣を集めて、十分に意見を言わせて、その後断を下すようにした。家臣たちにも責任と自覚が生まれた。さらに家臣が守るべき規律信玄家法を制定した。戦いの準備だけではなく、土地の売買、喧嘩両成敗に至るまで詳しく規定し、勝手な行動をいさめた。注目すべきは第五十五号である。もし信玄の言動に問題があるならば身分を問わず誰でも投書してもらいたい。必ず改めると宣言したのである。いかがだろうか。この規定は現在でも通用する規定である。もしもは、歴史で語れないが、もし、織田信長がこのような生き方をしていたら本能寺で

殺されることはなかったといえる。その頃信玄は、上洛を決意し、甲府を南下して、徳川家康との戦いに臨んだのである。家康軍は大敗を喫し、家康は、恐怖のあまり、脱糞したといわれている。信玄はこのまま西に向かい織田信長と戦をするつもりであったが、残念なことに死亡したのである。五十二歳であった。信玄が、後十年生きていたら、武田幕府ができた可能性は高い。このような意味から、信玄は不運人であり、家臣からの信頼が低い信長は、強運の持ち主である。天下統一を前にして、家臣の信頼がないために、明智光秀の謀反によって、殺されたのは、何とも皮肉な結果であろうか。ところで、信玄は、家法を定めた理由について、次のように述べている。人に規則を守るには、まず自分の言動を反省して、非があれば直ちに改める姿を強く持たなければならぬ、と述べている。卒業生諸君は将来成功してほしい。最後に著者は、運が悪かったと嘆くと進歩が止まると結んでいる。

### 「留学生たちの溝部での日々」

2022年度秋新たに、ネパール、スリランカ、インドネシア、サモア、中国からの留学生が加わり、在籍している外国人留学生は10か国総勢103名となった。ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科、幼児教育学科全てに留学生が所属し、それぞれの目標や夢に向かって、日々勉強に励み、専門性を高めている。また、過去2年間は新型コロナウイルスの影響で、留学生の入国ができず、オンラインで日本語の授業を行っていたが、2022年春に水際対策の緩和があり、入国待機をしていた50名近くが入国し、キャンパスや教室には留学生たちの笑い声や元気なあいさつが響き、活気が戻った。2022年秋入学式には、秋入学学生13名に加え、春入学学生も民族衣装で多数出席し、久しぶりに華やかな入学式となった。

授業では、今年度から対面授業を再開。新入生は国籍を超えて、教えあいや助け合いがあり、良い雰囲気教室を漂っていた。2年生は日本での就職のため、「観光実務士」や「温泉コンシェルジュ」等の資格取得、日本語能力試験N1、N2に挑戦した。その成果もあり、2022年度秋に卒業した留学生は全員大分県内の宿泊業に就職することができた。今後も、本学で勉強した成果を資格取得や点数で出し、夢の実現に一步步近づ実に近づいてもらいたい。

今年度から大分県も短大も様々な活動を「withコロナ」で実施した。2年ぶりとなる学園祭は「文化の部」と「体育の部」に分かれての実施となったが、「文化の部」では留学生による民族ファッションショーや民族ダンスの披露が行われた。「体育の部」では、初めての挑戦にも関わらず、長縄で優勝することができた。また、2022年5月21日には「ロータリー国際交流デー」が開催され、幼児教育学科のウガンダの留学生と介護福祉学科のミャンマーの留学生が「自国の貧困事情」というテーマで発表した。さらに、大分市主催の「おおいたワールドフェスタ」や「夏休みこどもフェスタ 東アジア文化編」、「母語・継承語による発表会 世界の子どもと地域の交流」など多数の国際交流活動に参加することができた。どの活動も初めて参加をする留学生が多かったが、堂々としたステージ発表、プレゼンテーションであった。また、中国大連の友好姉妹校の学生と中国語を履修している日本人学生、留学生との発表会もオンラインで開催した。今後も別府溝部学園短期大学の留学生たちと共に歩んでいきたい。



### 一年を振り返って 「小説の神様」が私たちに 問いかけたこと

短期大学部長 田邊 勲

この一年も、新型コロナウイルスへの対応に追われた日々であった。社会もそうであり、学園も同じであった。卒業生の皆さんも十分な活動を制約された二年間をさみしくおもうのではないだろうか。私たちがその心情を汲み取り、感染対策を第一に考えながら、できる限り充実した学習活動の保障を目指した一年であった。

社会全体も徐々にではあるがコロナとの共生を探る方向が見えてきた。規制の緩和に向け、経済との両立を図る方へと進んでいる。正体をつかみ切れず、恐れていたところから人々はその恐れに向かい、戦い続けてきた。その人知がコロナを乗り越えようとしている。白樺派の作家で「小説の神様」と呼ばれた志賀直哉が大正八年に発表した作品に「流行感冒と石」(後に「流行感冒」と改題)がある。その前年から翌年にかけて全世界で流行したスペイン風邪を題材としたものである。このスペイン風邪は全世界で推計ではあるが六億人が罹患したと言われ、日本でも当時の人口のおよそ半数が罹患し、死者は四十万人にも及んだといわれる。ほぼ百年を超えて流行するコロナ禍との類似点が多い。作品では、特に人物

像にその姿を重ねてみることが出来る。得体のしれない伝染病に対して、異常なほどに神経質になる人、他人を責め追い詰める人、楽観的な人、開き直る人。一世紀を経てまた同じようなパンデミックに遭う私たちを、彼は想定はしていなかったであろうが、作品の中でそういった人々を描きながら、彼は私たちに何を問いかけているのだろうか。 当時はウイルスを発見するための顕微鏡もない中で、スペイン風邪も三年後には終息した。作品に登場する人々も日常を取り戻した。現在の私たちにワクチンもある。科学の力は偉大である。しかしこの一年、いろんな制約の中で過ごした中でも温かい心のぬくもりをくれる家族や先生や友達とのかけわりの大切さを身をもって知ることができた日々であったと思う。

### 2022年度 介護福祉学科へミャンマーからの留学生来日

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子  
国際交流課 課長 教授 松浦 倫子

令和4年度入学のミャンマーからの留学生13人が、6月15日(水)朝の便で関西空港に着いた。関西空港ではNLC(日本語学校)の代表者の息子ケンジ先生と合流し、その後、新幹線、ソニックと乗り継いで別府駅に到着した。  
6月15日(水)～6月20日(月)はコロナの関係で自宅待機をし、6月21日(火)から登校した。  
その日は、介護福祉学科1・2年次生による歓迎会があった。  
1年次生にはミャンマーからの留学生が4人、2年次生には1名在学しているの



新留学生たちは安心感を得たようである。この13人の内訳は2年次コースの学生が5人、留学生コースの学生が8人で、留学生コースに関しては、4月から入学まではオンライン授業を受講していた。本学の介護福祉学科で日本人の学生や他国の留学生と交流しながら、一番の来日目的である「世界一といわれる日本の介護を学ぶ」と共に、日本の素晴らしい伝統文化を学び、日本人高年齢者の気持ちに寄り添うことのできる介護福祉士に成長していくことを期待する。

### 2022年度 (公社) 日本介護福祉士養成施設協会 外国人受入れ研修会

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

全国の介護福祉士養成校に令和3年度に入学した外国人留学生数は全新生数の約3分の1となり、この傾向はまだまだ続きそうである。学校存立に欠かせなくなった留学生の受入れをどの養成校においても適正に行っていたため、研修会を行うことにした。一校でも多くの養成校が外国人留学生を受入れ、日本人であれ外国人であれ、介護編場に優秀な

介護福祉士を送り出す使命が我々にある以上、この厳しい環境下、学校を閉じることなくぜひ積極的に留学生の受入れを果たしていただきたい。  
(日程) 2022年8月27日(土)  
(会場) フクラシア八重洲(ZOOMウェビナー)  
(主催) 日本介護福祉士養成施設協会 外国人留学生支援委員会

### 令和4年度 (公社) 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック教員研修会 「介護福祉教育における多様性を考える」

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

今日の社会においては、さまざまな領域分野において「多様性(diversity)」が尊重され、そこへの対応能力が求められている状況にある。介護福祉教育における多様性のイメージは個々に異なる、と予測されるが、その多様性について、介護福祉教育の観点から皆さんと一緒に考えたいと思う。

(日程) 2022年9月17日(土)  
(方法) オンラインZoom開催  
(主催) 日本介護福祉士養成施設協会 九州ブロック 日本介護福祉士養成施設協会 熊本県実行委員会(4校)  
(担当校) 熊本学園大学 (大会)プログラム

【開会式】  
【基調講演】  
「介護人材が多様化しているなかで、介護福祉士教育に求められること」  
厚生労働省 社会・援護局福祉基盤課 福祉人材確保対策室 介護福祉専門官 鈴木真智子氏

【分科会】  
第一分科会…介護過程における利用者理解・養成校卒業の指導者が捉えた現状と課題  
第二分科会…外国人留学生に対する介護福祉士国家試験合格に向けた学習支援方法  
第三分科会…コロナ禍における介護実習



### 2022年度 第30回 日本介護福祉学会大会 養成校から介護事業所への介護福祉教育 「介護サービススクオリティ向上事業」を介して

副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

第二分科会(介護福祉教育)でパワーポイントを使用して発表。  
【研究発表…考察】  
当初、どこまで支援ができるのか不安であったが、施設の皆様がよりよい環境を創りたい、そして、それらを利用者様の介護に反映させたいという強い意図と情熱があった。そのため互いに、利用者様が喜ばれる介護をするために「何が必要か?」「改善点は何か?」等を共に模索するという共通項を見出したことが、課題から取り組みへ、結果に繋がったのではなかろうかと考える。

今回の取り組みの中で最も力を入れたかったことは、介護職員のソフト面、つまり、心の在り方の支援であった。最初は会議の度にマイナス面を指摘する発言が多々見られたが、取り組みの過程でしっかりと自分達の施設の肯定的な面を見つめ、認識する機会を得たことで、現実にも即した目標設定に修正されていった。このことにより、介護職員の皆様に達成感を持つていただくことができ、意欲づくりや自己肯定感に寄与できたのではないかと考える。

【第30回 日本介護福祉学会大会】  
会 長 加瀬裕子  
介護福祉の現場でも、教育の現場でも、熱心に仕事をされている方が最上の方法であると思いがちである。しかし、すこし違う視点から見るとやれることがまだあることに気づく。そのような気づき

(内容)  
開会  
主催者挨拶  
①外国人留学生の受入れで起こる問題 事例…養成校側・介護施設側  
②外国人留学生の適正な受入れとは…課題解決へのヒント…  
入学前に周知すべき諸条件、契約について(法的視点・在学中の学習環境指導体制について  
③外国人留学生受入れの好事例…介護施設側・養成校側  
④質疑応答  
閉会式

【特別講演】  
特別出演「このよりのゆりかご」立ち上げの趣旨」田尻由貴子氏(慈恵病院元看護部長)  
対 談 「このよりのゆりかごに預けられた僕」その後を伝えたい」宮津航(本人)・田尻由貴子氏  
【情報交換会】  
関心ごとや課題等を共に語り合います



令和4年度全国教員研修会 進化・深化する介護、ケアの力 「養成教育の持続的発展をめざして」  
副学長・介護福祉学科 教授 溝部 佳子

○養成教育存続の危機  
介護福祉士資格制度と養成教育開始から35年、介護福祉士養成施設は存続の危機に直面している。介護人材の需要増大の一方で、養成施設(課程)数は減少の一途を辿り、定員充足率も約50%に留まっている。外国人留学生の比率は年々高まり、入学者の約3分の1を占めるなど、養成教育制度の空洞化が懸念される。  
○進化・深化する介護  
介護施設・事業所では、ICTを活用した機器・設備の導入が進んでいる。三大介護(食事・入浴・排泄)から科学的介護へ、重度化の防止と自立支援へ、介護現場は真に自己実現を支援するケアへと進化・深化しつつある。コロナ

【閉会式】  
【シンポジウム】  
進化・深化する介護、ケアの力を養成教育にどうつなげるか  
【分科会】  
第一分科会…AI・デジタル時代に求められるICT活用の教育  
第二分科会…コロナ禍における進化・深化する感染症教育  
第三分科会…外国人留学生の受け入れと教育  
【基調講演】  
「介護の未来を拓く」発展するための基本條件」  
恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂氏  
(主催) 日本介護福祉士養成施設協会 東北北陸ブロック会 (大会)プログラム



禍でのエッセンシャルワーカーとして、介護福祉士の職域拡大も期待されている。養成教育の持続的発展をめざして「まんじゅう型」から「富士山型」へ、介護人材の構造転換の中で、真にケアの力を備えたチームリーダーとして資質の高い介護福祉士養成へ期待は高い。少子高齢化が進む共生社会における介護福祉士養成教育の原点を踏まえつつ、デジタル化、感染症、外国人留学生など養成教育の今日的課題について理念・内容・方法を共有して、養成教育の持続的発展へのベクトルを探ることをめざすものである。  
(日程) 2022年11月17日(木)  
(方法) オンライン(ZOOMミーティング)  
(主催) 日本介護福祉士養成施設協会

(テーマ) 多様なケアから介護福祉学を問う  
―地域共生社会を見据えて―  
(日程) 2022年10月9日(日)  
(会場) 白梅学園大学 WEB開催  
(主催) 日本介護福祉学会・第30回日本介護福祉学会大会実行委員会 (大会)プログラム  
閉会式  
基調講演  
「障害者の権利保障運動の軌跡と地域共生社会」  
鼎談  
「医療的ケア児支援法の成立―地域支援と介護福祉の役割―」  
ランチョンセミナー  
「実践をどのように研究に結びつけるのか」  
自由研究発表  
(口頭) 15分(10分・質疑5分)  
シンポジウム  
「多様なケアから介護福祉学を問う」  
①介護福祉士の子どもの支援  
②多様なケアラー支援  
③防災拠点型地域交流スペース「サンライズ・サーカス」  
学会賞授与式・学会総会  
閉会式

### 一般社団法人日本調理科学会2022年度大会報告

会期：令和4年9月2日(金)～3日(土) 兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス

食物栄養学科 教授 望月美左子

一般社団法人日本調理科学会は、調理科学に携わる研究者、関連分野の研究者、教育者、技術者が参加して、調理に関する科学的研究の推進、その知識の普及を目的に活動を行っている。今年度の大会は、ハイブリッド開催となり、9月2日の公開学術講演会は、「森と海から調理科学へのメッセージ」持続可能な食文化を育むために」のテーマのもと、「瀬戸内海で生まれた魚食文化地勢その関り」と環境問題(日本伝統食品研究会会長鷲尾圭司)、「森林からのメッセージ」熱帯林からアブラヤシプランテーションへ(兵庫県立大学環境人間学部准教授伊藤雅之)の講演があった。9月3日には、口頭発表18題、特別企画「伝え継ぐ日本の家庭料理」ポスター発表および家庭料理研究11年間の活動報告展示、総まとめ報告説明会、出版事業展示および農文協のルーラル電子図書館デモンストラーションがあった。望月は、大分県のポスター「大分県家庭料理の特徴 一村一品運動に繋がるバラエティーに富んだ料理」の研究に携り発表担当者であるため、また、今後の報告集について勉強するため姫路会場に出席した。全国の伝え継ぐ家庭料理の特徴を短時間に学ぶことができ、今後の広がりを確認できた大会であった。

### 第22回大分県栄養士学会において本学学生が研究発表を行いました

食物栄養学科 教授 望月美左子

日 時：令和4年12月3日(土) 9:30～15:30

会 場：トキハ会館5F ローズの間 (大分県大分市府内町)

発表者：食物栄養学科2年

宇多田 愛羽、高原 麻衣、田浦 駿

指導教員：教授 望月美左子

公益社団法人大分県栄養士会は、会員の資質の向上と各職域分野の理解を深めることを目的に、第22回大分県栄養士学会をトキハ会館で開催しました。今年度のテーマは、「連帯」多様化するなかで職場での貢献度を考える「スペシャリスト」として存在感をアピールしよう」でした。本研究会では、現場の第一線で活躍されている多くの栄養士の先生方が聴講されている中で、本学食物栄養学科学生が、これまでにやってきた研究成果を一般口演として発表を行いました。発表題目は、「SDGsを探る 蜂と日本人」です。発表内容は、日本人がこれまで蜂の子や蜂蜜を食生活に上手に利用してきたことを知ったことをきっかけとして、蜂に注目したものです。昆虫食が見直される現在、食材としての蜂の新たな活用方法



についての検討を行いました。学生に対してアンケート調査を行い、ほとんどの学生は蜂の子を食した経験がないという結果に基づいて、若い世代の人たちにも好まれるような蜂の子のさらなる活用方法を考えました。会場の栄養士の先生方からは、蜂の子の栄養成分の特徴についての質問や、蜂の駆除の件数などについての質問をいただき、新たな課題やさらなる研究の発展を



### 学会全国大会2022の参加と学会誌掲載の報告

会期：令和4年11月26日(土) 会場：杉野服飾大学

ライフデザイン総合学科 教授 高野弓枝

考えることができました。発表した学生は、「今後は蜂の子を用いた新しいレシピの開発を進め、卒業研究としてまとめていきたい」と、この研究に対して一層意欲を高めており、今後の研究の発展が大きく期待されます。

ファッションビジネスを研究する者が集まり研究成果の発表を行う全国大会が開催された。令和4年度のファッションビジネス学会は「ファッションビジネスにおけるニューノーマルとサステイナブルの現状と今後」と題して、3年ぶりとなる対面形式での開催となった。第一部の基調講演は日本化学繊維協会理事長・富吉賢一氏が「歴史的な動きから紐解く、sustainabilityの意味」繊維・ファッション産業の対応はどうあるべきか」というテーマのもと、日本の繊維産業の変遷とサステイナビリティに関する取り組みについて70分間の講演をおこなった。第二部はポスタープレゼンテーション3報と口頭研究発表20報の発表がおこなわれた。全国大会の様子は2022年12月1日発行の織研新聞(第21001号)に掲載され、学生会員を含む正会員130名の参加があった。3年ぶりとなった対面形式の学会は滞りなく終了し、

筆者が2021年全国大会で発表した研究が、ファッションビジネス学会誌「GAKKAI PRESS」創刊号に掲載された。Z世代が好むプチラファッションとサステイナブルファッションの関係についての一考察というテーマのもと、Z世代のプチラ志向とサステイナブル指向についての現状や、各種データから考察した報告が計6ページの論文として掲載された。



2022年11月5日、大分駅前にある祝祭の広場において「OITA提言フェスタ留学生による日本語スピーチコンテスト」が開催され、食物栄養学科留学生コースのアリアアアティマラモナさん(インドネシア)が「ことわざと卵焼き」というタイトルでスピーチを行い、優良賞を受賞しました。

2022年11月21日には「第19回外国人による日本語スピーチコンテスト」がJ・COMホール大分にて開催され、介護福祉学科1年生のナウレイレイワさん(ミャンマー)が演題「日本での最大の関心事」でTOSテレビ大分賞、ライフデザイン総合学科日本語コース1年生の張喜影さん(中国)が演題「心の帳」でOAB大分朝日放送賞を受賞しました。日本での生活を通して生まれた疑問やことばの面白さ、そして人との触れ合いの中で感じたことを外国語である日本語で表現し、大勢の人々の前でスピーチを行ったことは、学生自身にとってもきっと大きな成長の機会となったことでしょう。皆さんの応援で素晴らしい成績を修めることができました。ありがとうございます！ これからもスピーチ大会をはじめ様々な国際交流活動を通し、多様な価値観を認め合える社会の実現に寄与していきます。

### 留学生意見交換会(弁論大会)

留学生による日本語スピーチコンテスト結果報告



# 別府溝部学園短期大学 公開講座 オープンレッジ2022実施

別府溝部学園短期大学ホームページから申し込みます

本年度も、新型コロナウイルスの感染予防のために検温、消毒、マスク着用、3密防止等に留意しながら、本学が保有する専門的、総合的な教育・研究機能を地域社会に開放し、地域住民の生涯学習のニーズに応え、地域文化の向上に資することを目的として公開講座を件数を減らして実施しました。

開設された講座は、**別府溝部学園短期大学会場**  
1「魔法のパン屋さん」アンパンマンとカレーパンマンそして温泉プールで遊ぼうね！、2親子で作ろう！世界で一つのピカピカ泥だんご、3温泉学～別府温泉の魅力、温泉活用法を学ぶ～（正規授業の一般公開）食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、4地域固有の環境要素の発見～（正規授業の一般公開）食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、5温泉文化と活用（正規授業の一般公開）食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、6大分学～おんせん県おおいたをまるごと学ぼう～（正規授業の一般公開）食物栄養学科温泉コンシェルジュコース、7知への招待～あなたの知らない英語の世界～、8たのしい薬草講座、9郷土料理を探ろう、10大分県産食材の味覚をたのしもう！、11ココロもはっぴい～カラフル料理～地元のお野菜で元気な「からだ」作り～、12おせち料理と一緒に作りませんか？、13お魚さばき講座、11ハンドベル講座-入門編-、11ハンドベル講座-アドバンス-  
**J:COMホールトホール大分**  
1フラワーアレンジ、2アンガーマネジメント講座  
参加者は幼児から高齢者まで、幅広い年齢層で延べ391名に達し、和気あいあいの中、有意義な時間を共有していました。



## 第17回 読書感想文コンクール

### 【読書感想文の部】

#### 最優秀賞

安倍 正浩（介護2年）

「銀河鉄道の夜」を読んで

優秀賞

森崎美恵（介護1年）

「慈悲の怒り（震災後を生きる心のマネジメント）」を読んで

幸 小友美（幼教1年）

「心の持ち方」を読んで

レイキムホアン（介護2年）

「天、共に在り」を読んで

#### 佳作

宇都宮夏来（食物1年）

「運転者―未来を変える過去からの使者―」を読んで

チンジヨオ（介護2年）

「歩いて、歩いて」を読んで

安部 智夏（幼教2年）

「心を整えるスレー」悩みが消えていく神の言葉」を読んで

平本みなみ（ライフ1年）

「人生は宝探し」を読んで

秋吉 真菜（幼教2年）

「君の脾臓を食べたい」を読んで

#### 【ポスターデザインの部】

##### 最優秀賞

佐藤 歌耶（ライフ2年）

注（ライフライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科）

「MIZOBESPIRITS」の三活動の1項に「読書活動」があります。そしてそれは「心を耕す」活動となっているのです。太宰治の「正義と微笑」の中に、「勉強とはいはれないもの。中絶」とある。本来「耕す」の意味を持つ語ですが、その語が「才能」を磨く、高める、洗練するなどの意味を持つようになっています。特に若い時代の人格は未開の分野が広がっているのです。その未開の土地に鍬を入れて耕していく、その営みが読書であると考えます。さらに美しい実りを求めて耕し続けます。その先に教養に満ちた洗練された人格の完成が待っているのです。すなわち豊かな実りが約束されているのです。どのように科学が発達しても、私たちは過去の優れた先人と親しく語り合うことは不可能です。また、世界中を訪ねて偉人と親しむことも数は限られます。しかし、読書はそれを可能にしてくれるのです。図書館では、皆さんが多くの図書に親しみ、自らの心を耕す機会を提供したいと願っているのです。

今年度も、「感想文コンクール」に多くの応募があり、とてもうれしく思っています。内容も充実し、鍬の跡も読み取れ、頼もしい限りです。最優秀賞に輝いた安倍正浩さんの感想文にも、「長い歴史を経ても、現代に生きる私たちの作品を読める」ということはそれだけ普遍的なテーマを持っているのだと思う。と書かれています。まさに読書の本質を述べたものだと思います。また、今年度もライフデザイン総合学科の協力で素晴らしい作品としてポスターを提供してください。以下、優秀作品と受賞者を紹介します。

## ライフデザイン総合学科・食物栄養学科 幼児教育学科・介護福祉学科 4学科合同就職ガイダンス

令和4年度就職支援年間計画

### 【就職ガイダンス】

第一回 就職ガイダンス  
「就活に必要な書類の説明（履歴書の書き方等）」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象  
日時／令和4年4月4日（月）  
会場／各学科ごと

第二回 就職ガイダンス  
「論文」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象  
日時／令和4年4月5日（火）  
会場／各学科ごと

第三回 就職ガイダンス  
「就活に必要な面接」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象  
日時／令和4年5月14日（土）9時30分～10時30分  
会場／各学科ごと

第四回 就職ガイダンス  
「就活メソッド（希望者のみ）」  
講師／食物栄養学科、介護福祉学科の各2年次生対象  
日時／令和4年7月2日（土）  
会場／各学科ごと

第五回 就職ガイダンス  
「就活のための論文の書き方（自己PR・志望動機等）」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各2年次生対象  
日時／令和4年7月2日（土）  
会場／各学科ごと

第六回 就職ガイダンス  
「就活のための正しい着こなし・身だしなみ」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象  
日時／令和4年10月1日（土）  
会場／各学科ごと

第七回 就職ガイダンス  
「就職活動のノウハウを学びましょう」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象  
日時／令和4年12月3日（土）  
会場／各学科ごと

第八回 就職ガイダンス  
「ハローワーク出張相談室（昼休み）」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、介護福祉学科の各1年次生対象  
日時／令和5年2月3日（金）  
会場／各学科ごと

第九回 就職ガイダンス  
「性格検査（一般常識テスト）」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科の各1年次生対象  
日時／令和5年2月

## キャリア教育講座

学生のための教養講座

### ライフデザイン総合学科

第一回 キャリア教育講座  
「ファッションブランドを学びましょう」  
講師／株式会社 ワールドパートナーズ  
日時／令和4年6月28日（火）13時00分～14時30分  
会場／別府溝部学園短期大学 2号館2階

第二回 キャリア教育講座  
「下キハでの販売実習前教育」  
講師／株式会社 トキハ

第三回 キャリア教育講座  
「ファッションブランドを学びましょう」  
講師／株式会社 ワールドパートナーズ  
日時／令和4年6月28日（火）13時00分～14時30分  
会場／別府溝部学園短期大学 2号館2階

第四回 キャリア教育講座  
「ファッションブランドを学びましょう」  
講師／株式会社 ワールドパートナーズ  
日時／令和4年6月28日（火）13時00分～14時30分  
会場／別府溝部学園短期大学 2号館2階

第五回 キャリア教育講座  
「ファッションブランドを学びましょう」  
講師／株式会社 ワールドパートナーズ  
日時／令和4年6月28日（火）13時00分～14時30分  
会場／別府溝部学園短期大学 2号館2階

第六回 キャリア教育講座  
「ファッションブランドを学びましょう」  
講師／株式会社 ワールドパートナーズ  
日時／令和4年6月28日（火）13時00分～14時30分  
会場／別府溝部学園短期大学 2号館2階

第七回 キャリア教育講座  
「ファッションブランドを学びましょう」  
講師／株式会社 ワールドパートナーズ  
日時／令和4年6月28日（火）13時00分～14時30分  
会場／別府溝部学園短期大学 2号館2階

人事部 人事課 宮崎 久美先生  
日時／令和4年12月16日（金）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館2階124教室  
第三回 キャリア教育講座  
「大分県フリースタイルバル冬（フワワーランウェイ）」  
日時／令和5年1月22日（日）  
参加協力／別府溝部学園短期大学  
会場／イオンパークプレイス大分1F  
サンニウォーク 中央催事場  
第一回 キャリア教育講座  
「にじいろ制作ワークショップ」  
講師／株式会社 エークレラス キンコーズ  
日時／令和4年7月7日（木）14時40分～16時40分  
会場／87年館2階872教室  
第二回 キャリア教育講座  
「ファッションブランドを学ぶ」  
講師／ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科2年次生対象  
日時／令和4年10月19日（水）9時00分～12時00分  
会場／記念館3階マルチメディア教室  
第一回 キャリア教育講座  
「医療事務の仕事について」  
講師／社会医療法人恵愛会 大分中村病院 医療事務 佐藤 里穂子様（卒業生）  
社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院 医療事務 新野 佐代子様（卒業生）  
日時／令和4年7月9日（土）14時30分～16時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館124教室

「医療事務の仕事について」  
講師／社会医療法人恵愛会 大分中村病院 医療事務 佐藤 里穂子様（卒業生）  
社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院 医療事務 新野 佐代子様（卒業生）  
日時／令和4年7月9日（土）14時30分～16時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館124教室

「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

日時／令和4年7月7日（木）10時40分～12時10分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館125教室  
第二回 キャリア教育講座  
「医療機関での療育の実践と保育者の役割」  
講師／別府発達医療センター ひばり園 安達 順子様  
日時／令和4年7月14日（木）10時40分～12時10分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館125教室  
第三回 キャリア教育講座  
「福祉機関で働く保育者の役割と魅力」  
講師／社会福祉法人 大分県社会福祉事業団 奥村 達也様 谷口 博昭様  
日時／令和4年7月21日（木）10時40分～12時10分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館125教室  
第四回 キャリア教育講座  
「異年齢保育の実践と保育者の関わり」  
講師／社会福祉法人 森友会 よいこの森こども園 園長 池田 信一様 安藤 智恵様 山崎 志臣様 佐藤 真白様  
日時／令和4年10月31日（月）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館125教室  
第五回 キャリア教育講座  
「私立幼稚園に関する学生ガイダンス」  
講師／大分県私立幼稚園連合会 副会長・やまばと幼稚園 園長 めぐみ幼稚園 園長 山崎 佐和子様 めぐみ幼稚園 園長 岩久 葵様 岩久 葵様  
日時／令和5年1月20日（金）10時40分～12時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室

「介護福祉士」  
第一回 キャリア教育講座  
「介護福祉士の仕事とは」  
講師／日清医療食品株式会社南九州支店 横山 真純様  
日時／令和4年4月13日（水）12時50分～14時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室  
第二回 キャリア教育講座  
「給食管理実習 学外実習報告会」  
日時／令和4年10月1日（土）13時00分～16時20分  
会場／別府溝部学園短期大学 本館階段教室  
第三回 キャリア教育講座  
「委託給食会社合同会社説明会」  
参加企業／コンパスグループ・ジャパン株式会社  
株式会社メオス  
日清医療食品株式会社  
日時／令和5年2月27日（火）11時00分～12時00分  
令和5年2月28日（水）12時00分～13時00分  
会場／別府溝部学園短期大学 87年館873教室



2022年6月6日（月）に本学福祉介護棟1階で「留学生就職ガイダンス」を開催しました。ガイダンスでは、朝日キャリアバンク株式会社様に在留資格の説明をしていただき、その後大分県内のホテル、レストラン、製造など5つの企業様から会社説明や求める人物像についてのお話をさせていただきました。

水泳部



感謝

主将 福原なつみ

昨年の七月、十五年間続けてきた水泳を引退しました。父がコーチをしている水泳のクラブチームで練習を始め、気がつくと大学生まで水泳を続けていました。大学での水泳生活は、コロナ禍により思うように練習ができないこともありましたが、自分が置かれていた状況を受け止め、最後まで一生懸命活に向き合うことを決めました。最後の大会を終えた後、これまで関わってきた人々から「お疲れさま」とメッセージを頂き、沢山の人の支えられていたことを実感しました。

休みが少なく、練習ばかりしていた日々ですが、私は水泳を通して多くのことを経験し、忍耐力や継続力を身につけることができました。4月からは、社会の一員として働いていきます。出会った方への感謝を忘れず、水泳で培った経験を活かして頑張っていきたいです。今まで支えてくれた方々、本当にありがとうございました。



弓道部



弓道で学んだこと

主将 帯刀 樹里

私は短大に入学してから弓道に出会い、始めました。指導者はおらず先輩方から教えていただきました。自分の弓の引き方や、一連の所作が正しいのか分からず、先輩方に聞きながら、自分なりに取り組み、大変ながらも楽しい日々でした。

コロナの影響で大会も少なく、今まで大会に出ない私にとって、大会の雰囲気から分らないまま一年が終わりました。しかし二年の秋、大きな大会に参加でき大会での緊張感を体験できました。弓道を通して学んだことがあります。一つは礼儀です。弓道における礼儀は、始まり終わりの礼や、弓を引く時の一連の動作などです。これにより気持ちが落ちつき集中する



スポーツ大会

10月21日金曜日べっぷアリーナにおいて、『令和4年度短大・歯科合同スポーツ大会』が実施されました。今年はメインアリーナにて、午前「ドッジビー」「バドミントン」、昼「リレー」、午後「バレーボール」「バスケットボール」の計5種目がおこなわれました。

感染症対策をおこないながら、姫山会を中心に楽しむための環境整備に努めていました。

昨年より競技種目数も増え、学科を超えた交流ができたのではないのでしょうか。

各競技入賞したのは以下の通りです。

- ◇ドッジビー
  - 1位 幼児教育学科2年A
  - 2位 幼児教育学科2年B
  - 3位 介護福祉学科合同
- ◇バドミントン
  - 1位 歯科C
  - 2位 介護福祉学科合同C
  - 3位 幼児教育学科1年C
- ◇バスケットボール
  - 1位 介護福祉学科合同
  - 3位 留学生合同A
- ◇リレー
  - 1位 幼児教育学科2年
  - 2位 幼児教育学科1年
  - 3位 介護福祉学科合同
- ◇バレーボール
  - 1位 留学生A
  - 2位 留学生B
  - 3位 介護福祉学科合同
- ◇バスケットボール
  - 2位 幼児教育学科1年



ハンドベルリンガーズ年間活動報告書

顧問 山香 陽子



今年度は、昨年入部した学生と共にサークル活動を開始いたしました。出張演奏では、人形劇サークルよりお誘いを受け参加した東本願寺四日市別院での「お寺いち」、木に囲まれた本堂とハンドベルの音色は非常に相性がよく、心地よく響く豊かな音色を地域の方々に聴いていただくことができました。その他、別府市民・学生大同窓会、新入生歓迎会、ミュージックカーニバルでも演奏する機会をいただきました。

また、卒業生OGの方々によるハンドベルリンガーズは、大塚先生御指導のもと、ホテル日航大分のクリスマスロビーコンサートにて演奏を披露し、多くのお客様に天使のハーモニーを届けてまいりました。

ただ残念ながら、感染拡大により見送ることとなったステージがいくつもあり、来年こそは穏やかに演奏できることを願うばかりです。

今後も、学内外でハンドベルの音色をお届けできるよう、力を尽くしてまいります。よろしくお願い申し上げます。

別府溝部学園短期大学の思い出

食物栄養学科留学生コース アマリア・ファティマ・ラモナ

私は、別府溝部学園短期大学食物栄養学科留学生コースのアマリア・ファティマ・ラモナと申します。インドネシアから参りました。

別府溝部学園短期大学に入学してから、食物栄養学科の勉強だけでなく、日本語能力試験のための勉強や、ビジネス日本語も勉強しました。食物栄養学科の授業では、日本食文化を学んだり、和食・洋食・中華料理・母国の料理を作ったりすることもでき、楽しく勉強ができました。それだけではなく、奨学生としてファッションショーやスピーチ大会などの国際交流イベントに参加し、経験を積みました。また、留学生向けの大分県PR動画にも出ることができ、とてもいい経験になりました。

私は別府溝部学園短期大学を卒業した後、学校で学んだことや経験を生かして、日本のレストランに就職し、将来インドネシアか日本にレストランを作りたいと思っています。

これからも学校で学んだ食物栄養の知識やビジネス日本語を忘れずに頑張ります。



人形劇部活動報告

顧問 高濱正文

今年度、2年ぶりに活動を再開した劇団ぱれっと。保育者になるために、志が高いいメンバーが集まり、姫山会、後援会からのご支援を頂き、更には「別府市民活動支援補助金」の交付を受け活動して参りました。こども食堂「光町にじ児童クラブ」での初公演をかわきりに東本願寺四日市別院で開催された「お寺いち」・杵築市の竹林での「森守の森祭り」。姫島村の「キツネ踊り」を題材とした創作劇を披露した「国見ふるさと祭り」、「別府市大同窓会」では別府駅前にて歌って踊るパペットショーを披露しました。また「高齢者クラブ山寿会」の誕生会でも人形劇を披露し、新聞にも掲載されました。さらには「ひめやま幼稚園サンサンフェスタ」や「光の園児童館」パークプレイス大分「ファイナル公演」など全10公演：多くの会場でも多くの方々の観客の皆さん楽しんで頂きました。これまでの活動を通して、メンバーの絆が深まりました。



# 58th FASHION SHOW 一条の光



令和5年2月17日(金)18:00~19:30 ライフデザイン総合学科ファッションショーが、新型コロナウイルスの感染予防のために検温、消毒、マスク着用、3密防止等に留意しながら、大分市のJ・COMホール大分・小ホールで開催されました。

今年のテーマは「Trait de lumiere (下レ・ドウ・リュミエール)」。フランス語で「一条の光」を意味します。学生達は高校の頃から新型コロナウイルス感染症の影響を受けて過ごしてきました。何かと暗い世の中ですが、このファッションショーが皆さまの一条の光となることを祈ってテーマを考えました。学生一人一人のインスピレーションからスタートした、非日常のファッションは、奇抜なデザインや楽しい演出でご観覧くださるお客様を魅了しました。

学生達、一人一人の個性を生かしたサステナブルファッションをはじめ、カジュアルな作品、フォーマルドレスの数々、衣装34点を披露しました。デザインから縫製、ウォーキングレッスンやメイク、ヘアデザイン、アクセサリー等の作成企画演出、BGMまでトータルコーディネートされた自作自演のファッションショーでした。

会場はコロナ禍にも関わらず、県内の高校生や就職先の関係者の方々、保護者の方々、卒業生等の観客で埋め尽くされ、大盛況でした。

コロナ禍で不安と緊張で一杯だった学生達でしたが、斬新なファッションでランウェイでポーズを決めていく姿が熱くなりました。



令和4年11月26日(土)、第15回 Mizobe食のコンテストを開催した。今回のテーマは、「食のSDGsを考える〜減らそう!フードロス〜」。まだ食べられる状態であるにもかかわらず、廃棄されてしまう食品(フードロス)を減らすためのレシピ・アイデアを募集した。

大分県内の高校・大学等に応募をよびかけた結果、計106作品の応募があり、8作品が本審査に進み、新型コロナウイルス感染症防止対策を行ったうえで開催した。栄養士、行政、高校家庭科教員の審査員による、調理とプレゼンテーションでの審査が行われた。どの出品者の発表もレベルが高く、それぞれがフードロスについてきちんと調査したうえで、誰でも実行可能なレシピの提案を行っていた。

最優秀賞は、別府溝部学園短期大学 食物栄養学科1年生の若林絵里さんの出品した「オムレツそうめん」が選ばれた。味の良さと、身近な食材を使用したレシピだというところが評価された。また、特別賞が大分県生活環境部つくし作戦推進課、大分県栄養士会、大分県農林水産部おおいブランド推進課、大分県カボス振興協議会、JAおおい、別府市、大分合同新聞社より授与された。

昼食には、大分県カボス振興協議会より「かぼす及びかぼす果汁」を、大分県椎茸農業協同組合より「乾しいたけ」を提供いただいた。そして、本学学生が「しいたけカレー」と「かぼすサラダ」を調理提供し、密にならないように分かれて昼食休憩をとった。

昼食休憩の後は、管理栄養士であり料理研究家でもある、満留邦子先生による(東京と大分をつないで)「オンライン講演会『SDG'sなレシピ提案〜日々の私の小さな取り組み〜』」を開催し、参加者にとって有意義な時間となった。

本コンテストにより、一人ひとりが食べ物を大切に、その行動を継続するきっかけになることを願っている。

## 食物栄養学科 第15回 Mizobe食のコンテスト 「食のSDGsを考える〜減らそう!フードロス〜」



## 第41回 モンジャクモバル



第41回記念公演を12月7日(水) J・COM ホール大分9日(金)別府ビーコンプラザにて開催することができました。感染症拡大防止の観点から完全予約、演目時間短縮、休憩時間のゆとりなど多くの制限下でしたが、約千三百名の地域の方々にご来場いただきました。

プロローグとして、観覧時の感染予防行動をお願いするアニメーションを上映しました。続いて、1、2年次生全員で伝統のソラン節を和太鼓も取り入れ披露し、本公演のメイキング動画を上映、オリジナルマスコットキャラクターによる幕間となぎました。1年次生演目「みて!きて!いて!〜えすでい〜じ〜ずってなんだろう〜」では、オリジナルストーリーを軸に、地球で起こっている環境問題が伝わるように、いろいろな世界を表現しました。休憩時間には、有志によるハンドベル演奏を行い、2年次生演目「眠れる森の美女〜優しい種と花咲く歌〜」では、演技や歌だけではなく背景幕などの大道具、小道具、衣装まで制作。世界が分裂・対立の緊張に直面する今だからこそ、優しさの種を蒔き、人や世界を信じて自分から手をつないでいくことの大切さを表現しました。エンディングでは実行委員長からの挨拶後、「スマイル〜キラキラ輝く明日へ〜」を合唱し、あつという間の終演です。

開催が危ぶまれる状況もありましたが、コロナ禍で制限下にある子ども達に「早いクリスマスプレゼントを届けることができました」。



## 令和4年度 介護福祉学科 ふくし・ふれ愛ひろば 地域・ふれ愛ひろば

介護人材育成と地域貢献を目的として、介護福祉学科発足当初より取り組んでいる「ふくし・ふれ愛ひろば」がききよくれ!楽しいんデイ」を今年も開催した。昨年度と同様、今年度もコロナ対策に配慮しながら県内の高校生を対象とした「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」と地域の高齢者を対象とした「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」を2回開催した。参加した高校生や地域の方に、介護の素晴らしさや食生活の重要性について披露した。

1回目 「溝部学園 ふくし・ふれ愛ひろば」  
 (日時) 令和4年11月12日(土)  
 午前10時~14時

2回目 「溝部学園 地域・ふれ愛ひろば」  
 (日時) 令和4年11月19日(土)  
 午前9時~13時

(場所) 福祉介護棟 1階実習室  
 (対象者) 関の江新町「関寿会」33名  
 留学生23名 学内関係者13名

(内容) テーマを「ほんわか介護くん」と決め、「ほんとうにわかってほしい介護」の必要性を視覚・聴覚に訴えた。

オープニングは学生と教員による大正琴演奏から始まり、統括・劇・レクリエーション・食事班に学生が分かれ、各班ともに福祉・介護の魅力を伝えた。また、興味・関心が湧くよう、参加者自ら体験できる企画を盛り込んだ。そして、対象者の特性に合わせた内容とするために、学生が自主的・主体的に取り組んだ。参加した高校生からは「介護についてたくさん学ぶことができた」「楽しかった」等の声が聞かれ、地域の方からは「楽しかった」「ありがとう」等の声があった。1・2年次生協働で一つの大きな行事を成し遂げることができた。このことは学生たちにとって貴重な経験となり、今後の学生自身の成長や自信へと繋がるのではないかと考える。



# ライフデザイン総合学科学外研修

2022年9月10日(土) 場所:iichikogranshiata(大分市)

令和4年度の学外研修は、劇団四季のミュージカル「ロボット・イン・ザ・ガーデン」をiichikogranshiataで観賞しました。新型コロナウイルス感染症の対策は大分県と劇場の方針に従い、基本的な感染予防対策を講じながら研修を開催しました。

ライフデザイン総合学科1・2年生(フアッションブランドデザインコース・グラフィックデザインコース・医療事務コース)の学外研修は、コースや学年、学生や教員関係なく親睦を深めると共に、様々な研修から受ける感情の体験や情操の教育、共感する力や社会性が育まれることを願って毎年実施しています。ロボット・イン・ザ・ガーデンという演目



# 食物栄養学科 学外研修(兼:おおい地域連携プラットフォーム)「学びのツアー」(温泉と食・旅のレシピ開発事業)

2022年9月26日(月)~27日(火) 場所:玖珠郡(九重町・玖珠町)

ここ2年、コロナ禍の影響により学内での研修を余儀なくされた研修は、行動制限も緩和になりつつあるなかで、感染予防対策を講じながら1泊2日の学外研修を行った。今回の研修には、大分県の事業(おおい地域連携プラットフォーム)と連携し、宝泉寺を含む玖珠郡(九重町・玖珠町)の観光資源を活用した災害復興活性化である課題解決を大きな研修目的とし、温泉と食・旅のレシピ開発となる「学びのツアー」と称した研修を実施した。

研修エリアに学生が密集しないよう、二つのグループ(25名ずつ)に分け活動した。まず1日目、それぞれのバスは、九重町の研修エリア(愛菜ファーム・やまなみ牧場・長者原ビジターセンター・タデ原温泉・寒の地獄・筋湯温泉)を訪問し、夜は長者原温泉郷と宝泉寺温泉郷

エリアにわかれ、特徴ある施設に宿泊した。夕方から雨に見舞われ予定していた星空の観察は思うように行うことはできなかったが、学生はそれぞれの宿泊先で地域の方々と交流を持つことができた。2日目は、九重町のペリージュファームに行き、次に玖珠町の研修エリア(久留島武彦記念館・豊後森機関庫・道の駅重話の里)に移動して見学した。学生にはすべての研修先で「学生目線でのインスタ映えする写真」と「課題解決案(レポート)」のミッションが課せられた。学生は、ミッションを楽しみながら、観光資源の新しい視点をみつけていった。



【食物栄養学科】  
1 食育効果の「見える化」  
2 玖珠・九重の学びのツアー  
3 玖珠郡の温泉と食でアンチエイジング  
4 竹田式湯治の健康効果を知る  
5 留学生を対象とした  
6 蜂と日本人  
7 温泉蒸気を利用した「甘太くん」  
8 県立高校の食堂における課題解決  
9 高校生の食育  
10 子ども食堂と共にSDGsを考える  
11 栗の世界

# 卒業研究報告(二年間の成果)

1 保育現場における年齢別の発達  
2 特別養護老人ホームでの看取りについて  
3 介護食の歴史と現状の変化  
4 ノーリフトケアの重要性  
5 保育の魅力とは何か  
6 新聞から見る、児童虐待の実態  
7 病児保育室の認知度に関する調査  
8 20年における幼児を取り巻く多様性  
9 各国の介護事情に関する調査  
10 腰痛の原因と治療方法  
11 片耳難聴の概要と片耳難聴の

### 幼児教育学科 学外研修

2022年9月29日(木) 場所：竹田市体育センター(報告会) 野外劇場T.A.Oの丘

令和4年度幼児教育学科学外研修は竹田市方面で日帰りの研修を行いました。

午前中は竹田市総合文化ホールグラウンツ竹田横に併設している竹田市体育センターにて、夏の実習を終えた2年生から1年生への実習報告会を実施しました。多くの2年生は、保育所、幼稚園、施設の3つの実習を終え、やり切った実習の楽しかったことや辛かったことなど様々な報告をしてきていました。1年生はしっかりと聞き耳を立て聞いている様子で、来年度の夏の実習の励みになったようでした。

午後は「野外劇場T.A.Oの丘」にてDRUM T.A.Oを観劇しました。雄大な大自然のパノラマを背景にした舞台は迫力があり、演者のかっこよさに目を奪われている学生もちらほら。秋学期から始まるミュージックカーニバルに向け、「演じる」とはどういうことか。「人を楽ませる」とは何か、感じるもの



があったのではないのでしょうか。新しい体験を通して、秋学期からの新たなスタートを志す有意義な一日となりました。

### 介護福祉科学外研修

2022年10月14日(金) 場所：福岡博多座

令和4年度介護福祉科学外研修として、福岡博多座にてミュージカル「ヘアスプレー」を鑑賞しました。

アメリカを舞台にした、人種・体系・性別の差別問題等を絡めながら、自分らしく

前向きに生きる大切さを訴える内容でした。

介護福祉学科では留学生が半数以上在籍しており、熟考できる内容のなか、華やかな衣装や装飾、笑いも交えたコミカルな演出やパワフルな歌声に一同引き込まれました。

コロナ禍での公演で、休憩をはさみ2時間45分の舞台でしたが、終演後には大きな拍手につつまれ、主演の渡辺直美さんが何度も挨拶に出てこられたのが印象的でした。今回スケールの大きな



### 第23回 ライフデザイン総合学科 グラフィックデザインコース 卒業制作・学生作品展 2023

ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコース1、2年生による「第23回グラフィックデザインコース卒業制作・学生作品展2023」が、令和5年2月16日(木)〜2月20日(月)の日程で、大分市アートプラザアートホールを会場に開催された。グラフィックデザインコースでは、グラフィックデザイナー、DTPデザイナー、Webデザイナーを目指す学生が、



デザイン、DTP、Web、クロスメディアデザイン、写真、素描、工芸等の様々な体験学習を通して印刷 出版、広告業界の技術の習得を行っている。今回の展示では、CGに優れたMacを使って制作したコンピュータグラフィック作品(デジタルアート)、写真、絵画、素描、基礎デザイン、イラスト、卒業生作品など約200点が展示された。作品には学生それぞれの個性が出ており、500名を越える多くの方々が関心をもって鑑賞していただくことが出来た。今回グラフィックデザインコースとしての学生作品展は23回目となり、回を重ねるごとに出品点数も増え内容も充実してきている。学生も含めてよい経験となった。今後も学生、卒業生の作品発表の場として、さらに充実させていきたい。

### 第7回イラストデザインコンテスト

ライフデザイン総合学科グラフィックデザインコースでは、情報時代を求められるデザイナーやクリエイターをめざします。その一環として、豊かで柔軟な発想で自分独自のイメージを表現したオリジナルのイラストを募集しました。第7回のテーマは「動物」。イラストデザインコンテストには多くの高校生、学生から応募があり、素晴らしい感性にあふれた作品が集まりました。

#### 入賞

- 最優秀賞 西村 一紗さん (エゴイスト)
- 優秀賞 高山萌乃果さん (食物連鎖) (大分県立大分西高等学校2年)
- 天沼ヒカルさん (本当に餅ついてた!w) (木村 裕嘉さん (福を招く)) (別府溝部学園短期大学1年)

#### 最優秀賞



西村 一紗さん

### JR別府駅構内 観光ポスター作品展示

2022年3月28日(月) 4月14日(木) JR別府駅構内

毎年、4月初旬の「別府八湯温泉まつり」の一環で、学生が作成したポスターなどの作品をJR別府駅構内で展示していた。今年度は「コロナ禍により縮小しつつも」別府八湯温泉まつり」が開催され、JR別府駅構内での本学学生による作品展示は引き続き行うことができた。別府の主要な観光名所の写真やイラスト、キャッチコピーなどを組み合わせ、学生が各々の視点と想いで、学生らしい趣向を凝らしたポスター作品や、段ボールを使用したフィギュアアートを制作した。期間中は、子どもからご年配の方まで、多くの方が作品の前で足を止めて下さり、学生の思いがこもった作品を、思い出のひととして刻んでいただいた。



### 第15回 わが校自慢コンクール

本学の「ライフデザイン総合学科」のなかにはデザインや写真等、実技を通して自分だけの作品を創造したり、専門ソフトを使用してデジタル技術を修得するコースがあります。そこで図書館では「わが校自慢コンクール」を実施し、自らの学校の特徴的な活動の様子、ユニークな友人、先生の紹介、校内の美しい風景などの楽しい作品が多く寄せられています。例年のように、応募作品の中から入賞作品を専門家の目で審査しました。その審査員の先生の講評によれば、「最優秀作品は光のグラデーションがとても綺麗で構図の決め方やバランスの良さなど、上手に撮れていると感じた。」ということでした。今回も多くの作品をご応募いただいた中、上位入賞者は以下のとおりです。

#### 最優秀賞

笠置 結蘭 「夜空と光」 (大分県立日出総合高等学校3年)

#### 優秀賞

- 安達 幸輝 「朝の射」 (大分県立鶴崎工業高等学校3年)
- 長尾 真鈴 「日は好日」 (大分県立鶴崎工業高等学校3年)
- 石井 咲来 「せいのっ!」 (大分県立鶴崎工業高等学校1年)
- 住 作 佐藤 優菜 「憩う」 (大分県立大分鶴崎高等学校3年)
- 麻生 優佳 「学舎」 (大分県立日出総合高等学校3年)
- 賀部 義人 「陽射しの中の校舎」 (別府溝部学園高等学校3年)
- 杉原 海羽 「思い出の場所」 (大分県立高田高等学校3年)
- 工藤 心琴 「おりゃあ」 (大分県立鶴崎工業高等学校1年)

### 魚ばき おさ講

2年間の中止を乗り越え 念願の講座実施!! (兼：公開講座) 2023年1月21日(土) 場所：85年館調理室・試食室



今年度は第8波のコロナ禍の中、感染対策を講じながら魚食普及を目的とした、念願の「第25回おさ講」を実施した。佐伯市蒲江漁業青年部連絡協議会と連携し、佐伯市から「美人ぶり尾・鯛9尾・カボスヒラメ1尾」の寄付をいただき、講座がスタートした。青年部の皆さん総勢16名が、本学食物栄養学科1年生と留学生として一般参加者に、美人ぶりの捌き方を指導いただいた。大魚を目の前にした学生は、包丁捌きに悪戦苦闘。あつという間に手によって、刺身・アラ汁・ホイル焼き・カルパッチョに調理された。CTBメディアの取材を受けた学生は、「短大に入学した一番の理由がこの『おさ講』だ」と話した。試食会では、学長をはじめとした3名の来賓をお招きし、「第1回目からの運営者である来賓の青柳征子先生からは、27年前の立ち上げ当時の苦労とある当時の青年部だった方々の息子さん達が後継者となり、今回の講座に参加していただいていることから、講座と漁業の継承の喜びを語った。試食会の最後に、スリランカとネパール出身の留学生から「刺身を初めて食べたがとても美味しかった」と感想があった。佐伯市蒲江漁業青年部および関係者の皆さんのお陰によりコロナ禍前の活気が戻り、講座は大盛況に終わった。

# キャンパスに咲いた若人の記録

## 年間行事 Campus schedule

### 春学期



就職ガイダンス



第17回読書感想文コンクール  
春学期定期試験  
幼児教育学科保育園実習(2年次生)



幼児教育学科幼稚園実習  
食栄学外研修、幼教学外研修



介護福祉学科ふくし・ふれ愛ひろば  
就職ガイダンス  
食物栄養学科Mizobe食のコンテスト



4

春学期開講  
入学式  
オリエンテーション



5

姫山祭(学園祭)



6

7

ライフデザイン総合学科科学外実習  
食物栄養学科医療秘書実務実習  
食物栄養学科給食実習  
幼児教育学科保育園・施設実習(2年次生)  
介護福祉学科介護実習(2年次生)



8

9



10

秋学期開講 頌徳式  
スポーツ大会

### 秋学期



11

幼児教育学科  
ミュージックカーニバル  
(ホルトホール・ビーコンプラザ)  
防災訓練



12

姫山会役員選挙  
食物学科卒業研究発表会  
幼児教育学科卒業研究発表会  
介護福祉学科卒業研究発表会  
就職ガイダンス  
ライフデザイン総合学科  
医療事務コース卒業研究発表会



2

ライフデザイン総合学科ファッション  
プライダルコースファッションショー  
秋学期閉講  
ライフデザイン総合学科グラフィック  
デザインコース卒業制作・学生作品展  
幼児教育学科基礎実習(1年次生)



3

卒業式

あ  
と  
が  
き

本校は今年学園創立77周年を迎えこれまでご支援・ご協力下さった方々に感謝し、新たな一歩を歩んできた。今年は、ロシア軍によるウクライナ侵攻がおき現在も継続している。1日も早く平和な日が戻ることを心から願うばかりである。また、今年も新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延し、日本でも発出、厳しい状況が続いたが、ウィズコロナの時代に入りコロナと共存する時代へと進みつつある。卒業生のみならずには、本学で取得した資格、知識、技術を用いて一歩一歩進んでほしい。本学での2年間を糧にさらなる飛躍を願う。

発行 別府清部学園短期大学  
大分県別府市亀川中央町  
電話代表〇九七六六〇三三四  
写真こ ん ぱ す  
印刷(株)電子印刷センター